

ご存知ですか？

子どもの権利条約

「子どもの権利条約」は、平成元年の国連総会で採択され、日本は平成6年に、この条約を批准しました。「子どもの権利条約」は、18歳未満の子どもを「権利を持つ主体」と位置づけ、大人と同様に1人の人間としての人権を認めています。同時に、大人へと成長する過程において、子どもには年齢に応じた保護や配慮が必要な面もあるため、子どもならではの権利も定めています。

- 子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）の全文は、二次元コードから読むことができます。



- 相談 こどもの人権110番 ☎0120(007)110

子どもの権利条約 4つの原則

差別されないこと

全ての子どもは、人種や国籍、性別、意見、障がいなど、いかなる理由でも差別されません。

子どもの最善の利益

子どもに関することが決められ、行われる時は「その子どもにとって最も良いことは何であるか」を第一に考えます。

命を守られ成長できること

全ての子どもは、命を守られ、能力を十分に伸ばして成長できるよう支援が受けられます。

意見を表明し参加できること

子どもは自分に関係のあることがらについて自由に意見を表すことができ、その意見はしっかりと尊重されます。

生涯学習だより

問 生涯学習推進課
☎(83)7021

生涯学習係

無料

人権教育講演会(兼)第5回 町民大学

日 12月6日(土)

午前10時～11時30分

場 展示ホール

内 映画「Teamその子」

上映&トーク 困難を抱え生きる人の背景を理解し、できることを

考える

講 映画監督 友塚結仁さん

※映画鑑賞後、解離性

同一性障害(多重人格

障害)の方の人権につ

いて、監督の友塚さん

に語っていただきます

「解離性同一性障害」とは？

●どんな病気？

自分の中に別の人格が複数存在するようになる病気です。

●どうして起るの？

・幼少期に虐待やネグレクトを受けるなど過剰な苦痛を伴う体験(トラウマ)を長期間にわたって経験することや、耐えがたいストレス体験が原因で発症します。

●例えばどんなことが起るの？

・もう1つの人格になっている際の記憶や知覚がないことがあり、必要なことを思い出せない、健忘と呼ばれる症状が現れやすくなります。

●回復するために大切なこと

・記憶がない行動を他者から指摘されることで、戸惑ったり、辛い思いをしたりすることが多くあります。

・症状を悪化させる原因を可能な範囲で取り除いていくことが必要です。

・安心できる環境と一緒につくり、理解することがとても大切です。